



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月2日

上場会社名 アイエーグループ 株式会社 上場取引所 東
コード番号 7509 URL <https://www.ia-group.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古川 隆太郎
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 岡野 良信 TEL 045-821-7500
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 2023年12月8日
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	16,343	0.0	132	△61.1	190	△52.0	115	△58.0
2023年3月期第2四半期	16,340	△3.9	341	△15.1	397	△12.9	275	△55.9

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 109百万円 (△59.2%) 2023年3月期第2四半期 268百万円 (△54.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	79.70	—
2023年3月期第2四半期	188.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	27,669	13,499	48.4
2023年3月期	27,690	13,476	48.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 13,379百万円 2023年3月期 13,342百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	60.00	—	60.00	120.00
2024年3月期	—	60.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	1.4	1,370	0.5	1,500	△0.0	1,000	1.4	688.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	1,645,360株	2023年3月期	1,645,360株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	192,957株	2023年3月期	192,957株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	1,452,403株	2023年3月期2Q	1,461,832株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、「感染症」）の感染症法上の位置づけが5類に移行したこともあり、経済活動は緩やかな持ち直しの動きが見られました。一方で、ウクライナ情勢の長期化および諸外国の金融政策に伴う為替の変動等により、資源・原材料価格の高騰が消費財全般に影響を与えており、今後の国内経済の見通しは不透明な状況が続いております。

そのようななか、当社グループにおいては基幹事業であるカー用品事業は増収減益、ブライダル事業は減収減益となり、建設不動産事業は減収減益となりました。

なお、セグメント別の状況は以下の通りとなります。売上高につきましてはセグメント情報等の外部顧客への売上高を基準としております。

(カー用品事業)

2023年5月にあったタイヤ値上げにおいて、値上げ前の営業活動による需要取り込みがあったのちもタイヤ販売は堅調に推移しました。また、収益性の高いピットサービス部門も順調に推移し、車の出張買取等の施策を強化した車両販売は前年および計画を上回る推移をした結果、前年同期と比べ増収となりました。利益面においては、キャッシュレス決済や車両売買の増加に伴う手数料、店舗POSシステム入替等の費用の増加により、前年同期と比べ減益となりました。

(ブライダル事業)

感染症の影響が落ち着いているなか、お客様の安全を第一とした感染防止対策を徹底しつつ婚礼を実施しておりますが、前年同期において感染症により延期された婚礼の実施が多数あった結果、前年同期と比べ減収減益となりました。

(建設不動産事業)

保有する不動産物件の戦略的な売却と収益性を重視した優良賃貸物件の賃貸稼働率の向上に努めておりますが、前年同期に行った複数の不動産物件売却に伴う売上・利益があったことから、前年同期と比べ減収減益となりました。

(その他の事業)

コメダ事業については、売上高は順調に推移しました。また、販売費及び一般管理費の低減に努めた結果、前年同期と比べ増収増益となりました。

(総括)

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は16,343百万円（前年同期比0.0%増）となり、営業利益につきましては132百万円（前年同期比61.1%減）、経常利益につきましては190百万円（前年同期比52.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては115百万円（前年同期比58.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は27,669百万円となり、前連結会計年度末と比べ20百万円減少しました。

a. 流動資産

流動資産残高は、10,833百万円（前連結会計年度末比130百万円減）となりました。主な減少要因は現金及び預金の減少（153百万円減）であります。

b. 固定資産

固定資産残高は、16,835百万円（前連結会計年度末比109百万円増）となりました。主な増加要因は、土地の増加（46百万円増）であります。

c. 流動負債

流動負債残高は、9,042百万円（前連結会計年度末比230百万円増）となりました。主な増加要因は、短期借入金の増加（175百万円増）であります。

d. 固定負債

固定負債残高は、5,128百万円（前連結会計年度末比272百万円減）となりました。主な減少要因は、長期借入金の減少（349百万円減）であります。

e. 純資産

純資産残高は、13,499百万円（前連結会計年度末比22百万円増）となりました。主な増加要因は、利益剰余金の増加（28百万円増）であります。

自己資本比率は、48.4%となり前連結会計年度末比0.2ポイントの増加となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」）の残高は1,745百万円となり、前連結会計年度末と比べ153百万円減少しました。

a. 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金は、減価償却費の計上（372百万円）などにより、631百万円の収入（前年同期は437百万円の収入）となりました。

b. 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金は、有形固定資産の取得による支出（438百万円）などにより、509百万円の支出（前年同期は380百万円の支出）となりました。

c. 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金は、長期借入金の返済による支出（374百万円）などにより、275百万円の支出（前年同期は688百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日の発表から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,899,577	1,745,931
売掛金	1,631,499	1,498,030
棚卸資産	6,402,653	6,714,274
その他	1,030,663	875,744
流動資産合計	10,964,393	10,833,981
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,687,039	4,694,831
土地	6,862,838	6,909,738
リース資産(純額)	27,035	58,227
建設仮勘定	330	1,866
その他(純額)	528,377	555,316
有形固定資産合計	12,105,621	12,219,980
無形固定資産		
電話加入権	9,032	9,032
その他	118,096	155,971
無形固定資産合計	127,128	165,004
投資その他の資産		
投資有価証券	105,370	114,404
長期貸付金	18,890	18,590
長期前払費用	120,554	127,245
差入保証金	2,784,830	2,727,462
繰延税金資産	1,394,203	1,392,705
その他	89,886	90,421
貸倒引当金	△20,607	△20,107
投資その他の資産合計	4,493,128	4,450,722
固定資産合計	16,725,878	16,835,707
資産合計	27,690,271	27,669,688

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,171,319	2,066,415
短期借入金	3,826,343	4,001,445
リース債務	17,262	19,010
未払法人税等	169,190	164,740
未払消費税等	263,765	124,402
未成工事受入金	24,605	68,024
賞与引当金	443,829	453,878
その他	1,895,770	2,144,244
流動負債合計	8,812,086	9,042,160
固定負債		
長期借入金	2,648,753	2,298,786
リース債務	16,052	42,121
繰延税金負債	29,561	29,561
役員退職慰労引当金	477,754	502,153
退職給付に係る負債	623,405	638,362
資産除去債務	1,002,274	1,007,557
長期預り保証金	603,411	609,698
固定負債合計	5,401,213	5,128,241
負債合計	14,213,299	14,170,402
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,314,100	1,314,100
資本剰余金	1,824,791	1,824,791
利益剰余金	10,876,719	10,905,327
自己株式	△666,903	△666,903
株主資本合計	13,348,707	13,377,314
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,114	25,320
退職給付に係る調整累計額	△24,858	△23,295
その他の包括利益累計額合計	△5,743	2,024
非支配株主持分	134,008	119,946
純資産合計	13,476,971	13,499,286
負債純資産合計	27,690,271	27,669,688

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	16,340,528	16,343,389
売上原価	8,983,137	9,021,968
売上総利益	7,357,390	7,321,421
販売費及び一般管理費	7,016,191	7,188,848
営業利益	341,199	132,572
営業外収益		
受取利息及び配当金	7,514	7,047
受取手数料	46,253	51,363
その他	32,907	20,562
営業外収益合計	86,675	78,973
営業外費用		
支払利息	17,010	13,834
その他	13,832	7,330
営業外費用合計	30,843	21,164
経常利益	397,032	190,381
特別利益		
固定資産売却益	5,793	306
助成金収入	210	—
特別利益合計	6,003	306
特別損失		
店舗閉鎖損失	6,625	—
固定資産除却損	1,028	278
その他	1,401	—
特別損失合計	9,056	278
税金等調整前四半期純利益	393,979	190,408
法人税等	130,015	88,718
四半期純利益	263,964	101,690
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△11,376	△14,061
親会社株主に帰属する四半期純利益	275,341	115,751

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	263,964	101,690
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,575	6,205
退職給付に係る調整額	1,562	1,562
その他の包括利益合計	4,138	7,768
四半期包括利益	268,103	109,459
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	279,479	123,520
非支配株主に係る四半期包括利益	△11,376	△14,061

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	393,979	190,408
減価償却費	354,608	372,969
助成金収入	△210	—
店舗閉鎖損失	6,625	—
引当金の増減額 (△は減少)	42,741	51,157
受取利息及び受取配当金	△7,514	△7,047
支払利息	17,010	13,834
固定資産売却損益 (△は益)	△5,793	△306
固定資産除却損	1,028	278
売上債権の増減額 (△は増加)	59,917	133,468
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△85,023	△311,621
仕入債務の増減額 (△は減少)	△217,252	△104,904
その他	△217,827	207,428
小計	342,290	545,665
利息及び配当金の受取額	2,037	2,004
利息の支払額	△16,914	△13,694
助成金の受取額	210	—
法人税等の支払額	△105,135	△140,705
法人税等の還付額	215,234	238,059
営業活動によるキャッシュ・フロー	437,722	631,329
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△224,954	△438,423
有形固定資産の売却による収入	5,794	306
無形固定資産の取得による支出	△30,647	△59,246
資産除去債務の履行による支出	△245,600	—
投資有価証券の取得による支出	△10,090	△94
投資有価証券の売却による収入	150	—
貸付金の回収による収入	250	300
長期前払費用の取得による支出	△5,005	△16,606
差入保証金の差入による支出	△305	△132
差入保証金の回収による収入	130,373	4,569
保険積立金の払戻による収入	810	—
その他	△844	△563
投資活動によるキャッシュ・フロー	△380,068	△509,890
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△416,538	△374,865
配当金の支払額	△88,911	△86,886
その他	△83,274	△13,333
財務活動によるキャッシュ・フロー	△688,724	△275,084
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△631,070	△153,645
現金及び現金同等物の期首残高	2,130,979	1,899,577
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,499,909	1,745,931

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	カー用品事業	プライダル 事業	建設不動産 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	13,633,645	1,923,097	617,836	16,174,579	165,948	16,340,528	—	16,340,528
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,260	895	134,010	136,165	698,184	834,349	△834,349	—
計	13,634,905	1,923,992	751,846	16,310,745	864,132	17,174,878	△834,349	16,340,528
セグメント利益	210,592	52,957	13,661	277,211	63,227	340,438	760	341,199

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業及び経理・総務代行業務等を含んでおります。

2 セグメント利益調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	カー用品事業	プライダル 事業	建設不動産 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	13,865,818	1,812,635	490,937	16,169,391	173,997	16,343,389	—	16,343,389
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,260	1,441	257,088	259,790	698,566	958,356	△958,356	—
計	13,867,078	1,814,077	748,025	16,429,181	872,564	17,301,746	△958,356	16,343,389
セグメント利益又は損 失(△)	191,351	△110,159	△6,621	74,570	63,964	138,534	△5,961	132,572

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業及び経理・総務代行業務等を含んでおります。

2 セグメント利益調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

該当事項はありません。